

2026年度研究倫理向上月間
9月28日（月）～11月9日（月）

JST(科学技術振興機構)研究倫理映像教材

倫理の空白V -責任ある研究活動-

～研究不正は、真面目に研究に取り組んでいる研究者間でも起こりえます～

<視聴時間> 29:53



<視聴時間> 30:31



～共同研究編～



動画の視聴は
こちらをクリック



～データ管理編～

～あらすじ～

竹澤研究室は、食品メーカーと共同研究の契約を結び、機能性表示食品を開発することになった。共同研究には同大学院の松村研究室も参加するが、竹澤教授は年長の松村教授との意思疎通に悩む。企業との契約内容の確認不足、研究者間での情報共有やコミュニケーションの難しさを感じながらも、チームとしての良い関係性を徐々に築いていく。

～あらすじ～

大学の根岸研究室が発表した論文はニュース記事でも紹介され、話題となった。そんな中、『不正の疑いあり。データの一部は使い回し?』SNS上に書き込まれた不穏な投稿を見て、メンバーの空気が一変する。研究室のメンバーは不安に陥りながらも、不正がないことを証明するために、論文のデータを電子ラボノートにより検証していく。



動画の視聴は
QRコードを
スキャン



ゼミごとの研究倫理教育教材としての活用を推奨します

同志社大学研究倫理委員会主催

同時開催：研究費不正使用防止キャンペーン

(画像掲載元)

問合せ先：同志社大学倫理審査室事務室

